

平成24年度
宮沢賢治イーハトーブ館運営審議会会議録

日 時：平成24年8月6日（月）午前10時開会、午前11時30分閉会

会 場：宮沢賢治イーハトーブ館講義室

出欠者：出席委員 青木委員、阿部委員、高橋委員、大原委員、岩田委員、多田委員

欠席委員 浅沼委員、高橋委員、後藤委員、武政委員

説明者 菊池まちづくり部長、杉浦館長、小原事務長、牛崎（記念館副館長）

1 開 会

2 あいさつ

・館 長 杉 浦 静

・まちづくり部長 菊 池 保 守

3 会長選出

委員の互選により岩田安正委員を会長に選出する。

4 議 事

(1) 宮沢賢治イーハトーブ館運営の基本的方針及び計画策定に関して

(2) 宮沢賢治イーハトーブ館事業の企画及び実施に関して

上記(1)(2)を同一議題とし、会議配布資料の「平成23年度宮沢賢治イーハトーブ館年報」により、館の事業及び管理運営の概要を説明した。

各委員からの質疑、館からの答弁、説明等発言は以下のとおり。

青木委員 研究者の立場としてお聞きするが、イーハトーブ館の図書資料の収集の状況、特に費用についてお伺いしたい。

小原事務長 宮沢賢治学会イーハトーブセンター機関誌のビブリオグラフィーに登載されているリストを基本台帳として、資料の収集を行っている。執筆者、発行者に寄贈依頼を送付し、寄贈資料が大半を占めるが、寄贈が得られないものは市の予算で購入している。

青木委員 賢治の一次資料、原稿の保存状況はどうか。原稿の調査のため閲覧は可能か、また、公開しているか。

牛崎副館長 デジタルデータ化した精密複写のものを公開している。一次資料を保存している記念館の収蔵庫は、燻蒸しなくてもよい構造であるが、資料の劣化が進んでいると思われる。原稿調査のプロジェクトを企画したい。

高橋委員 イーハトーブ館の施設を無料で貸出しているが、電気料、冷暖房料などは徴収してもよいのではないか。

菊池部長 施設の設置目的からして貸出しを想定したものでないため無料は仕方ない。今後、利用料の規定は検討したい。

阿部委員 記念館、童話村、イーハトーブ館3館の有機的連携を望む。3施設の調整を

する部門が必要ではないか。

菊池部長　　これまで観光課が所管であった童話村をまちづくり部の所管に移管した。

多田委員　　市内の小学校は、子供が小学校のころからここに足を運ぶような企画があればいいと思う。

牛崎副館長　　市内小中学校を対象とした「風のセミナー」を実施しているが、その際、記念館、イーハトーブ館も利用するよう促している。ただ、ワークショップ等を企画しても、子供たちは忙しすぎるのか、なかなか集まらない。県外からの修学旅行は多いのだが。

岩田会長　　花巻に赴任した小中学校の教員は、記念館、イーハトーブ館での研修を受けられるようにすればよい。担任の教師が賢治に関心を持つようにすることが大事である。

高橋委員　　市の行政側からとして、まちづくり部から小中学校へそのような働きかけを行ってはどうか。

岩田会長　　これは以前から要望しているが、館のアプローチ階段に手すりを整備してほしい。高齢者は階段を目の前にして入館をためらうひともある。

5 閉 会